

仙台市市民協働事業提案制度

仙台市立病院×パーソナルサポートセンター協働による がん患者等に対する再就職支援及び就労継続支援事業 平成30年度事業報告

2019年7月5日



一般社団法人
パーソナルサポートセンター

団体の紹介

一般社団法人パーソナルサポートセンターの概要

- 団体名：一般社団法人パーソナルサポートセンター
- 団体のミッション
分野を越えて様々な団体が連携し、支援を必要としている方を様々な社会福祉制度やサービスにつなげ、その方が地域で安心して暮らすことができるようにお手伝いする。それらの実践の中から学び得たことを通して、人材の育成や社会制度の整備に向けた提言等を行っていく。
- 構成員
仙台・宮城を中心に活動する14団体＋協力1団体
- これまでの取り組み
 - 被災者支援事業
東日本大震災の被災者生活支援及び就労支援、仮設住宅の見守り、仮設住宅から転居する際の支援
 - 生活困窮者支援事業
生活困窮者自立相談支援、就労準備支援、中間的就労の開発、居住支援等

事業の目的

■解決したい課題

平成29年度の相談会の中で聞こえてきた、がん罹患者等の声にこたえるためには、地域社会や地域の事業所に対し「がん罹患者等が安心して働き続けられる環境づくり」への理解の促進と、まさにそのただ中にあるがん罹患者等が、様々な不安や困りごとの相談をしたり、あるいはがん罹患者同士が経験を共有し励まし合ったりして安心を得られる場をつくることが急務ではないかと考えられる。

そこで平成30年度の取り組みにおいては、さらにその環境や働く事業所にも目を向け、がん罹患者等が不安をやわらげつつ、安心して働き暮らし続けることができる地域社会づくりに向かって働きかけていくことが課題となる

■事業の目標

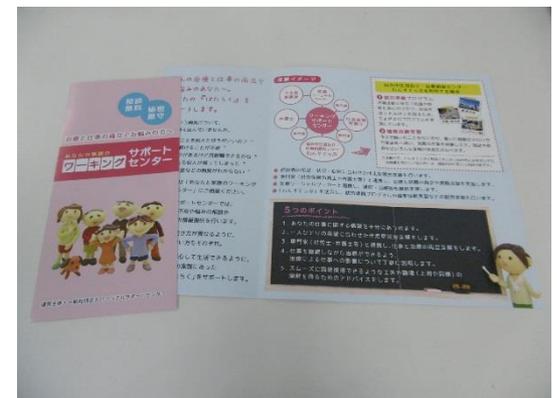
- ① 月に2回(年間24回)仙台市立病院において就労に関する院内相談会を実施し、当事者のご家族からの相談にも対応していく。
- ② がん罹患者等の就労に関する状況への理解を促進するシンポジウムを開催し、仙台市内在住のがん罹患者等及びその家族等と仙台市内の事業所へ参加を呼びかける。
- ③ がん罹患者等及び家族が集まるピア・サポートを想定したカフェを定期開催し、必要に応じ社会保険労務士や弁護士等の専門職を派遣する。
- ④ クローズドでのホームページを活用して情報発信や交換ができる場をつくる。
- ⑤ 医師と事業所にごがん罹患者等の就労に関するヒアリングを行いアセスメントシートを作成
- ⑥ 上記の取り組みにおいてがん罹患者等及びその関係者からの相談対応100件を目指す。

事業の成果目標の達成状況

目標① 月に2回(年間24回)仙台市立病院において就労に関する院内相談会を実施し、当事者のご家族からの相談にも対応していく。

達成度 85点

- 理由**
- 毎月2回の相談会を実施し合計24回の相談会を実施し、相談者数は45名、そのうち継続相談を実施した方は19名、そのうち8名の方が就労決定することができ、アフターフォローとして就労定着支援も実施している。
 - 相談内容では、再就職相談、復職相談、継続相談、その他生活相談となっており、就労支援以外にも入院と同時に居所を失い退院後の居所が無い方の相談等も行っている。



事業の成果目標の達成状況

目標② がん罹患者等の就労に関する状況への理解を促進するシンポジウムを開催し、仙台市内在住のがん罹患者等及びその家族等と仙台市内の事業所へ参加を呼びかける。

達成度 95点

理由

- 10月6日(土)に「治療と仕事の両立を考える」シンポジウムを勾当台公園側のTKPガーデンシティ仙台勾当台の2階で実施、来場者数115名の方々に参加いただいた。
- アンケート結果より、対象とした医療関係者、当事者、企業人事担当者側それぞれより満足、大変満足の回答が8割を超えている。



事業の成果目標の達成状況

目標③ がん罹患者等及び家族が集まるピア・サポートを想定したカフェを定期開催し、必要に応じ社会保険労務士や弁護士等の専門職を派遣する。

達成度 95点

理由

- ・ピアサポートカフェとして、社労士の相談会と講座、メーカー講座、FPによる保険講座を開催した。
- ・当事者同士の情報共有や医療関係者と意見交換する機会となっている。



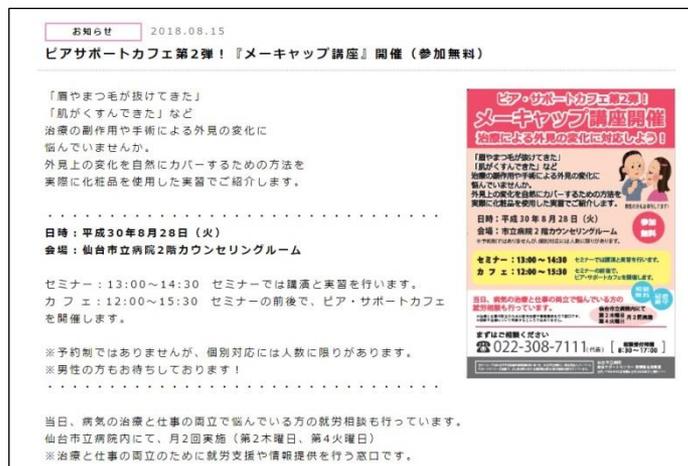
事業の成果目標の達成状況

目標④ クローズドでのホームページを活用して情報発信や交換ができる場をつくる。

達成度 40点

理由

- ・ クローズドタイプのホームページを立ち上げ、相談会などへの来所が難しい方や患者さん同士のピアカウンセリングを促進できるよう検討を進めたが、クローズドとはいえ患者さんに対する対応や、患者さん同士を仲介するための配慮事項など運営に対する課題や、事業終了後の継続運営に課題があり情報発信するためだけのホームページの作成を検討している。
- ・ 事業の告知については当法人のホームページにて掲載し対応している。



お知らせ 2018.08.15
ピアサポートカフェ第2弾！『メーキャップ講座』開催（参加無料）

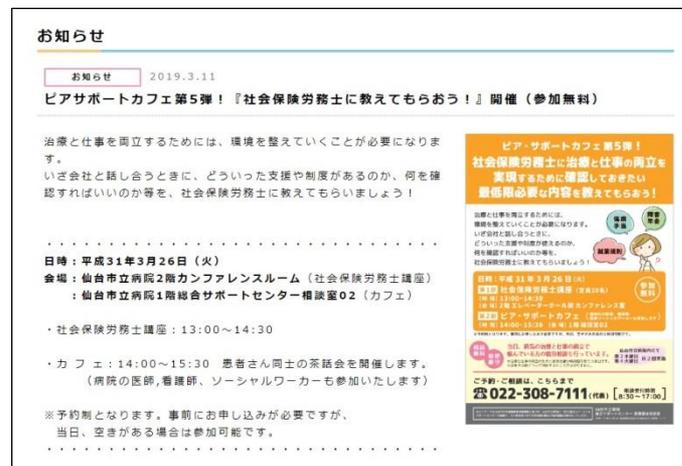
「肌やまつ毛が抜けてきた」「肌がくすんできた」など治療の副作用や手術による外見の変化に悩んでいませんか。外見上の変化を自然にカバーするための方法を美粧に化粧品を使用した実演でご紹介します。

日時：平成30年8月28日（火）
会場：仙台市立病院2階カウンセリングルーム

セミナー：13:00～14:30 セミナーでは講演と実演を行います。
カフェ：12:00～15:30 セミナーの前後で、ピア・サポートカフェを開催します。

※予約制ではありませんが、個別対応には人数に限りがあります。
※男性の方もお待ちしております！

当日、病気の治療と仕事の両立で悩んでいる方の就労相談も行っています。
仙台市立病院にて、月2回実施（第2木曜日、第4火曜日）
※治療と仕事の両立のために就労支援や情報提供を行う窓口です。



お知らせ 2019.3.11
ピアサポートカフェ第5弾！『社会保険労務士に教えてもらおう！』開催（参加無料）

治療と仕事を両立するためには、環境を整えていくことが必要になります。いざ会社と話し合うときに、どういった支援や制度があるのか、何を確認すればいいのか等を、社会保険労務士に教えてもらいましょう！

日時：平成31年3月26日（火）
会場：仙台市立病院2階カンファレンスルーム（社会保険労務士講座）
：仙台市立病院1階総合サポートセンター相談室02（カフェ）

・社会保険労務士講座：13:00～14:30

・カフェ：14:00～15:30 患者さん同士の茶話会を開催します。（病院の医師、看護師、ソーシャルワーカーも参加いたします）

※予約制となります。事前にお申し込みが必要ですが、当日、空きがある場合は参加可能です。

事業の成果目標の達成状況

目標⑤ 医師と事業所に対して、がん罹患者等の就労に関するアセスメントを実施する(アセスメント票の作成)。

達成度 95点

理由

- 治療と仕事の両立支援について企業へヒアリングを実施し、アセスメント票の作成を行い、市立病院の外科医にも内容を確認いただき活用を検討していけると評価いただいている。

職場復帰について主治医の意見書			
患者氏名		生年月日	年 月 日
住所			
治療の状況	〇〇に対する手術を行い、〇〇の診断であった。 術後の治療は抗がん剤と放射線治療を組み合わせて実施している。		
現在の症状	副作用として白血球数の減少、だるさや食欲低下、吐き気、脱毛等が見られている。		
今後の治療の方針	放射線治療は〇月末に終了する予定となっている。 通院による抗がん剤の治療を3ヶ月を1クールとし4クールの実施を検討している。		
復帰に関する意見	<input type="checkbox"/> 復職可 <input type="checkbox"/> 条件付き可 <input type="checkbox"/> 復職不可 副作用の症状が見られているため、短時間勤務制度など体調の様子を見ながら就労時間を確保していきける環境が望ましい。 今後の治療は月に3～5日程度の入院を伴う抗がん剤治療を計画しており、休暇について有給休暇や病気休暇などの利用について検討してほしい。		
その他配慮事項	治療を優先した働き方の調整や、副作用の症状が強くなった場合に休職できる場所や、職員の理解などの環境整備を進めていただくと復職がスムーズになると考えます。		
上記内容を確認しました。 平成 年 月 日 (本人署名) _____			
上記の通り、職場復帰の可否などに関する意見を提出します。 平成 年 月 日 (主治医署名) _____			

復職に向けた協議書					
平成 年 月 日					
氏名	性別	男・女	生年月日	年 月 日	
会社名	所属		職種		
職務内容	<input type="checkbox"/> PCを使った作業()時間 <input type="checkbox"/> PC以外のデスクワーク()時間 <input type="checkbox"/> 口体を使う作業()時間 <input type="checkbox"/> 立った体制で行う作業()時間 <input type="checkbox"/> 車等の運転業務()時間 <input type="checkbox"/> 出張の有無(有(月 日程度)・無() <input type="checkbox"/> その他()				
勤務形態	<input type="checkbox"/> 常駐勤務 <input type="checkbox"/> ニ交代勤務 <input type="checkbox"/> 三交代勤務 <input type="checkbox"/> その他()				
通勤方法・時間	<input type="checkbox"/> 徒歩 <input type="checkbox"/> 公共交通機関 <input type="checkbox"/> 自転車 <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> 通勤時間:片道()分				
治療における自覚症状					
復帰に対する希望					
利用できる制度	<input type="checkbox"/> 時間単位の年次有給休暇 <input type="checkbox"/> 傷病手当 <input type="checkbox"/> 病気休暇 <input type="checkbox"/> 時差出勤制度 <input type="checkbox"/> 短時間勤務制度 <input type="checkbox"/> 在宅勤務(テレワーク) <input type="checkbox"/> 試し出勤制度 <input type="checkbox"/> その他()				
有給休暇日数	残 日数				
協議した内容					
上記内容を協議しました。 平成 年 月 日 (本人署名) _____					
上記の通り、職場復帰に向け協議しました。 平成 年 月 日 (会社担当者名) _____					

職場復帰支援プラン				
平成 年 月 日				
氏名	性別	男・女	生年月日	年 月 日
会社名	所属		職種	
治療・休業等の状況、今後の治療予定				
期間	勤務時間	就業上の措置・治療への配慮など	治療等の予定	
協議した結果、上記内容の復職計画を立てました。 平成 年 月 日 (本人署名) _____ 平成 年 月 日 (会社担当者名) _____ 平成 年 月 日 (コーディネーター) _____				
上記内容の復職計画に添って進めていくことを支持します。 平成 年 月 日 (産業医署名) _____				
上記内容の復職計画に添って進めていくことを支持します。 平成 年 月 日 (主治医署名) _____				

厚生労働省が示している両立支援のためのガイドラインにおける考え方

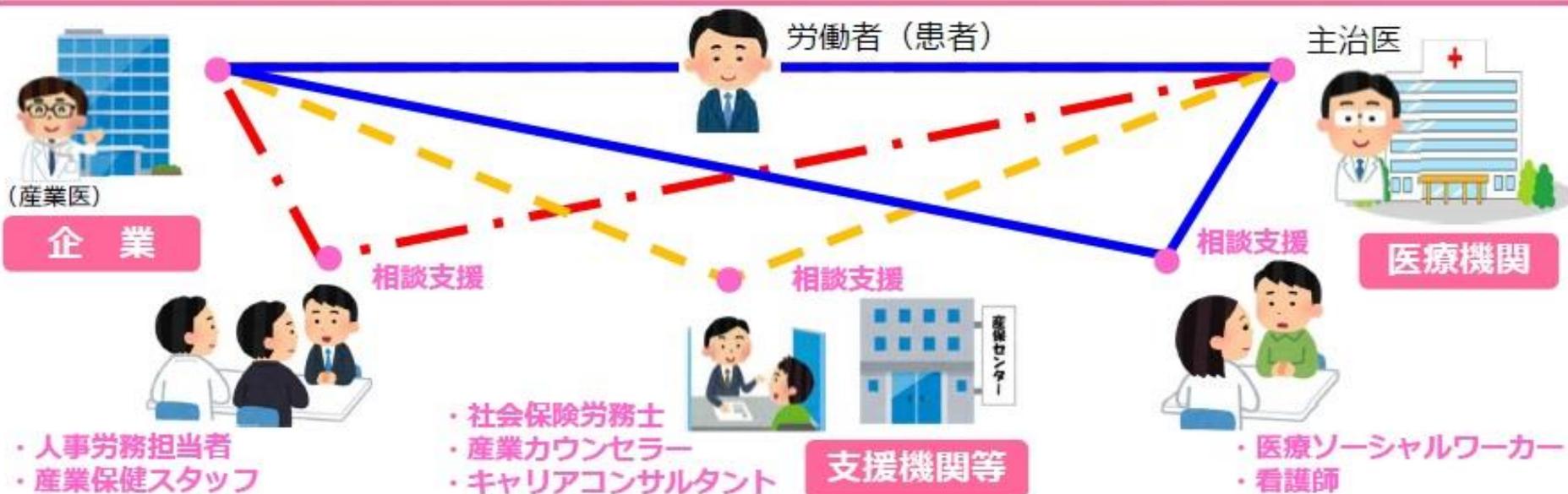
両立支援コーディネーター

担い手： 企業の人事労務担当者や産業保健スタッフ・医療機関の医療従事者・支援機関等

機能： 支援対象者に寄り添いながら継続的な相談支援等を行うこと

役割： それぞれの立場における支援の実施 及び 関係者との連携・調整

支援対象者の同意を前提として、治療に関する情報や業務に関する情報等を得て、支援対象者の治療や業務の状況に応じた必要な配慮等の情報を整理して本人に提供する 等



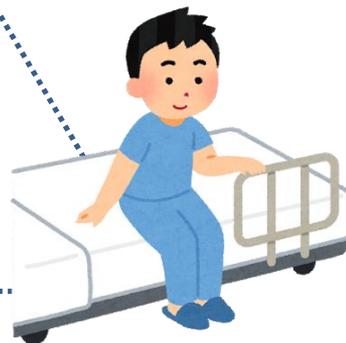
※関係者との調整を行うに当たっては、両立支援コーディネーターは、事業場に対して支援対象者の代理で交渉行為を行うものではないので、留意する必要がある。

■ 検討を重ねてきた結果

病院所属の両立支援
コーディネーター



①



患者



主治医

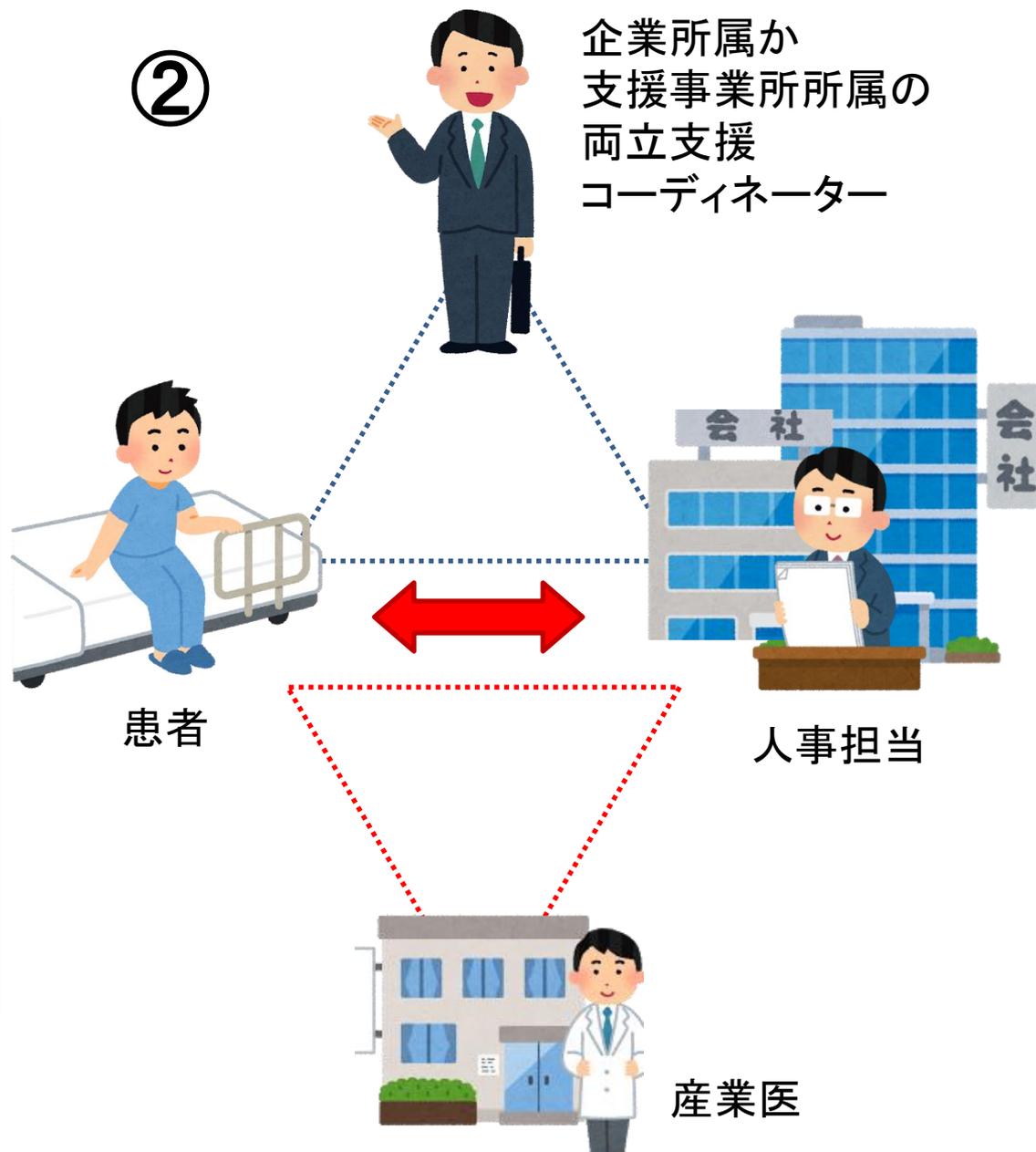


人事担当

①の三角形で患者本人の治療経過、今後の治療計画などを確認し、
本人が希望する働き方で復職を検討することが出来るか意見をいただく。

■ 検討を重ねてきた結果

①で頂いた意見書を基
に、会社側へ直接か、産
業医がいれば産業医も
交えた三角形か、企業に
所属しているコーディ
ネーターまたは、相談事業
所に所属するコーディ
ネーターと一緒に、企業
側が準備してある制度の
活用や、検討できる働き
方について確認を行う。



■検討を重ねてきた結果

③

病院所属の
両立支援
コーディネーター



企業所属か
支援事業所所属の
両立支援
コーディネーター



患者



人事担当



産業医

両立支援コーディネーターが中心となり①で確認している治療計画と、②で確認出来た働き方を活用した復職プランを作成しそれぞれから確認をいただく。

■ 検討を重ねてきた結果

病院所属の両立支援
コーディネーター



主治医



患者



人事担当

③で作成した復職プランを主治医が支持することで、企業側も安心して復職プランに基づく支援体制を整える機会となります。

協働で取り組んだことによる効果

- 定期相談会やピア・サポートカフェ、専門職と連携したイベントを開催し、相談対応者数は年間45件に増加し、その後の継続相談は19件で合計153件の相談に対応。目標の100件の相談に対応出来た。そのうち8件が就労決定に至り、2件が復職に向けた課題解決につながっている。
- がん罹患者等の就労に対する理解を促進するシンポジウムを開催し、患者、ご家族、企業、支援者合わせて115名の方に来場いただき、治療と仕事の両立支援について理解を深める機会をつくることができた。又、シンポジウムに参加いただいた社会保険労務士の先生がその後のピア・サポートカフェの専門職と連携した講座で講師として講演していただくなど、両立支援に対する新しい連携の輪が広がっている。
- ピア・サポートカフェを開催したことで、市立病院としての患者会の発足に向けた基盤をつくることができた。
- 医師と事業所に対して、がん罹患者等の就労に関するアセスメントを実施するために、厚生労働省が出している両立支援のガイドラインに合わせたシートを作成した。作成したシートについて市立病院の医師からも意見をいただき、今後モデルケースに対し実施していくことを検討していただいている。

◆ ケース対応の連携強化

- 就労相談をはじめ生活全体の相談ケースについて連携を深め、事業終了後もすでに協業が行われており、就労決定者も1名でている。その他にも居住支援やセカンドオピニオン等、それぞれの専門性を活かした支援の連携を続けていく。

◆ 出張相談会の実施

- 2年間継続した定期相談会を継続していけるように、実施回数や取り組み方などについて検討をしていく。

◆ 両立支援におけるアセスメントシートの活用

- 本事業で作りに上げたアセスメントシートを活用していけるように、モデルケースによる取り組みについて協業を検討していく。